

續・東洋學の話



[續・東洋學の話_下载链接1](#)

著者:[日]石濱純太郎

出版者:臨川書店

出版时间:2018-10

装帧:

isbn:9784653042549

東洋の古語と西域出土の仏典、古文献の研究者として活動した石濱純太郎(1888-1968)による東洋学に関する遺文を集めたものである。

作者介绍:

石濱純太郎:1888年11月10日 - 1968年2月11日。日本の東洋史学者、関西大学名誉教授。大阪府出身。東京帝国大学卒。東洋の古語と西域出土の仏典、古文献の研究者として活動した。龍谷大学講師を務め、また関西大学では助教授、教授(1949年就任)を務めた他、1953年には日本西藏(チベット)学会会長に就任。1957年「支那学論攷」で文学博士号が贈られる。1959年、関西大学教授を定年により退任、名誉教授に就任。ニコライ・ネフスキーと共に西夏語を研究。旧制大阪府立市岡中学校(現・大阪府立市岡高等学校)で画家の小出楯重、作曲家の信時潔と同級。作家の織田作之助とは長年に亘り親交が深かった。四万冊を超える東洋学関係の蔵書は、大阪大学に「石濱文庫」として保存されている

目录: 一、歐米の東洋學
二、新疆探險
三、學を語る
四、書評と紹介
五、書誌及び文獻
六、雜錄
七、アレクセーエフ宛書簡
編集後記
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[續・東洋學の話 下载链接1](#)

标签

日本汉学

西夏

敦煌学

评论

[續・東洋學の話 下载链接1](#)

书评

[續・東洋學の話 下载链接1](#)